

議会報告会 質疑集約(課題別)

テーマ	質問要旨	内容(会議録から)	会場での回答等
空き家対策	空き家について 移住について	安曇野市や長野県に住みたい人は大勢いる。移住・定住の促進のためにも、空き家を上手く活用する研究会をしてほしい。	ご要望としてお伺いする。
委員長・副委員長の選任	常任委員会の正副委員長について	政和会の方々が委員長、副委員長に誰も属されていないのはなぜか。	委員会による互選の結果である。
議員資質	議員の行動について	一部の議員が他の議員の行動や活動を詮索し、しかも他市の方々を使って調査をしていると聞いた。それが本当ならば、本当に情けない限りである。議員は政策で、それぞれの市政に対しての討論をしてほしい。	ご意見としてお伺いする。
議員定数・報酬について	議員定数の削減について 議員報酬の増額	2期目の議会で定員28人を25人に削減したが、安曇野市としてはまだまだ削減が足りないではないか。議員報酬で議員活動がしっかりできるように報酬を上げて、議員活動ができる若者が議員になれるような土壌をつくってほしい。	議長から議会運営委員会と議会改革推進委員会に、議員定数や報酬を含めた改革を諮問してある。
議員定数・報酬について	議員報酬の増額について 政務活動費の増額について 議員年令の若返り	市議会議員の報酬をもっと上げないと、本当にいい議会にはならないと思う。30代、40代で市議会議員になって安曇野市を一步でも良くしようと思う人たち、例えば一家5人の中に大学、高校生がいるような家族が生活できるような議員報酬にしてほしい。	議員報酬を上げることは非常に厳しいことだと思っているが、議会改革として、市民の皆さんと意見交換や対話集会等を計画してやる中でご助言をいただきたい。 「このまちが好きだ」、「これから将来ここで俺たちは生きていくんだ」というようなまちづくりをしてくれる若い人たちを、育てなければならぬと思う。
議会・議会改革	議会改革推進委員会について	どのような目的のために、どのように議会を改革したのか。	意見交換会ではないのでご意見としてお伺いし、議会で検討する。
議会・議会改革	政策提案できる議会について	議会は、いわゆるチェックも大事だがそれだけではなく理事者側に対して提案型の議会であってほしい。	前向きに検討したい。
議会報告会について	意見交換会について	「議会報告会」よりも、「市民の意見を聞く会」のように名前を改めるくらいの方向転換をすれば、もっと市民が参加して、意見を述べて、いい行政が進められるのではないか。	意見交換会の開催については議会改革推進委員会の中でも諮っていき、テーマを決めてやるのか、自由に市民の方から意見を述べてもらう場にするのかなどを今後検討して進めていきたい。

テーマ	質問要旨	内容(会議録から)	会場での回答等
議会報告会について	議会報告会の会場について3会場にした理由について	合併して10年、「一体感」「一体化する」ということをどの様に考えているのか。 前は1か所だった議会報告会を今回は3か所で開催し、なぜ明科と堀金は開催しないのか。 一体感ということなら、本庁舎で2、3回開催すればいいのではないかと。どうやって3か所の会場を決定したのか。	合併特例を使いながら1つのまちをつくり上げるために、色々な5町村から持ち込まれた課題等を解決しながら、一体感の醸成をしていこうとしたことは事実だろうと思う。 議会改革推進委員会で3か所での開催を決定した。 前回のアンケートや意見を参考にして今回は3か所にしたが、開催後に今回の反省を行い、来年の開催地や開催時間等を検討する。今回の議会報告会については3班という制約の中で3か所を選ばせてもらった。
議会報告会について	議会報告会の内容について 審査内容、発言内容の報告をしてほしい	「何々の予算はこうですよ」「こう変わりますよ」という報告だけではなく、もっと討論の中の砕けた話や、もっと泥臭いところを聞きたい。 市民がわかるような形で、こういう問題がこうなりましたという報告を待っている。	ご意見としてしっかりと伺います。
議会報告会について	議会報告会の運営について 対話集会形式	次第の5番目に、「その他何でも聞く」という項目を設けておけば、参加者も安心して色々なことが聞けると思う。 また、報告だけではなく対話集会のような形にしてほしい。	ご意見として伺いし、今後は十分配慮して進めたい。
公共施設の再配置	公共施設の再配置計画について 進行状況について	本庁舎の維持管理費の削減額は、本庁舎を作るときの当初計画に沿って満足な数字なのか。 公共施設再配置計画の検討をどんどん行い、本庁舎の維持管理費に充当するような額を捻出してもらいたいと思っている。再配置計画の検討のスピード感が少し足りないような気がするが、それについての質疑はあったのか。	維持管理費は、総額で2億7,465万9,000円が1億7,809万2,000円に減少になったと説明を受けた。電気代や水道代が予想以上に低く抑えられたと聞いている。 3月定例会では再配置計画について特に市側からの提案等がなかったため、委員会の中で議論はなかった。
高齢者対策	高齢者の独り暮らしについて	高齢者に社会人の子どもがいても、生活のために働かなければならず、その間は結局たった1人でいえないといけない。その高齢者に何か事故があった場合などに、大きな問題があると思うので対策ができないか。	ひとり暮らしの高齢者の問題は特に重要であり、考えていく。
自治基本条例	自治基本条例の策定について	現在ワークショップ等で自治基本条例の作成をしているが、旧5町村のそれぞれの形を参考にしている為、様々な面で意見の違いがあると思う。 こういった過程で作成され、議会に上程される条例の採決について、議会での話し合いや勉強は、どのように行われるのか。	自治基本条例は次の議会運営委員会を経て、全員協議会で中間報告される予定である。 議会としても条例案など、議員提案できていくレベルになりたいという気持ちがある。 自治基本条例と議会基本条例の双壁ができて、そこから議会がどうするかということを考え、その中でこれから意見を述べるという段階である。

テーマ	質問要旨	内容(会議録から)	会場での回答等
自治基本条例	区への加入について	現在作成されている自治基本条例の中で、「区に加盟するものとする」と書いてあるわけだが、区に入っていない人への対策は。	議会全体ではまだ自治基本条例の中間報告受けていないので、報告を受けた後にご意見をお聞きして対応する。
しゃなげ・老人保健センター	利用料金の設定の時期について	割引の話があったが、「安曇野しゃくなげの湯」の料金はいくらに設定されるのか。高ければ豊里の人だってそれほど行かないだろう。金額はいつ頃までにはっきり決定するのか。	今後「安曇野しゃくなげの湯」の管理運営を任せる指定管理の業者には、700円までの中で料金設定するという事になっている。割引は、日常的な健康増進や健康管理に活用できるように、廃止される老人保健センター並みに安く入れるようなサービスを検討中であると福祉部から聞いている。
しゃなげ・老人保健センター	「安曇野しゃくなげの湯」周辺整備について	「安曇野しゃくなげの湯」の周辺整備とあるが、建物ができた後に周辺整備にいくらかの費用がかかるのか。	市からは、周辺整備については平成28年度にきちんとした設計を組んで進めたいという説明があった。お墓も含めて協議している状況である。
しゃなげ・老人保健センター	温泉スタンドについて	温泉スタンドについて、温泉公社から個人が運ぶのではなく、灯油の宅配のように温泉タンクのタンクローリーで運ぶ等できないか。	ご意見としてお伺いする。
しゃなげ・老人保健センター	穂高老人保健センターに対する議会要望について	議会は平成27年3月定例会で「穂高老人保健センターの存続に関する陳情」の願意を酌み、条件付きで施設の継続を要望する要望書を全会一致で可決したのに、その後の12月定例会の指定管理者の指名や説明会の流れは、その要望書とは違う内容ではないか。もっと積極的に市に働きかけをしてもらいたい。	穂高老人保健センターは施設の老朽化が激しく、他の公共施設の廃止、存続、再配置などとの関係の中で、老人保健センターだけを特別に扱うことは理由が弱く、なかなか存続ということで意見が一致するところに至らなかった。
しゃなげ・老人保健センター	穂高老人保健センターについて	今度「安曇野しゃくなげの湯」ができたとしても、ちょっとおしゃれをして行かなければならないような施設になってしまうような気がする。有明の人たちは今、すすむし荘の方へ流れている。ぜひ穂高老人保健センターを復活してほしい。	ご提案としてお伺いする。
臭気対策	臭気対策について 畜舎の下水道接続について	下長尾地区と上長尾地区は、過去にも行政に畜産の悪臭について対策を要望して進めてもらっており、若干なりとも前進しているがなかなか解決しない。 一企業に対して公的資金を投入することは問題があるかもしれないが、公害問題の解決のために、公的資金もある程度投入して公共下水への接続を前向きに検討してもらいたい。	昨年10月1日に施行した臭気指数規制に基づいて、臭気の低減に向けた対策を進めている。 農政課と連携をして畜産臭気対策を強烈に進めていきたいと予算説明会で市から説明を受けた。 下水道については、議会から下水道課へ要望する。

テーマ	質問要旨	内容(会議録から)	会場での回答等
臭気対策	臭気対策について 現地視察について	畜産臭気の現地視察を行い実際に確認をしてから、対策について議論してほしい。	ご要望があった現地視察等を議会の中で検討していきたい。
女性の活動支援	女性活動について 男女共同参画関係の広報紙の各戸配布について	介護、子育て、女性の生き方など様々な女性の活動に大切なことを載せた、「湧愛」を発行しているが、これを回覧版ではなく広報と一緒に全戸配布してほしい。 女性の活動に対する、議員の考えを伺いたい。	ご要望としてお伺いする。 男女が同じ職場で同じように昇進できるようにすることなどについても行政に伝えていきたい。
人材確保	保健関係専門職の職員の充実について	市の健診など色々な事業が多くあるが、残念ながら保健師や歯科衛生士など常勤の職員は非常に少ない。常勤の専門職の職員の方を充実してほしい。	ご意見としてお伺いする。
耐震対策	地震対策について 住宅の耐震化について	地震対策について、壁にコンパネをつけると比較的簡単な工事で結構丈夫になるという話を伺ったことがある。住居する制度の補助を有効活用して地震対策ができるよう議会でも研究して、何回地震がきても壊れないよう対策をしてほしい。	ご要望としてお伺いする。
図書館	図書の情報提供	行政情報が交流センターの図書館に備えてあるが、どのような情報があるか、一覧だけでもホームページに載せてほしい。情報発信は、議会も行政側も大事だと思う。	議会、行政ともに重要なことであると思う。
トマト栽培施設	三郷トマト栽培施設の経営状況について	三郷トマト栽培施設が無償譲渡されるとあるが、直近の経営状況は。	若干黒字だと聞いている。
トマト栽培施設	トマト栽培施設の無償譲渡について	安曇野市議会では、二度とこのようなことがないようにしっかり行政のチェックをしてほしい。	ご意見としてお伺いする。
防災無線について	防災無線が聞こえない 屋外スピーカーから聞こえない	防災無線の内容が室内では全然聞こえない。聞こえない場合どうすればいいのか。	議会も行政に働きかけ、日常的に情報が行き渡るような方法を検討するようお願いしている。 フリーダイヤルで録音放送をしているので、聞こえなかった場合は利用してほしい。また、緊急時は通常の放送よりも音量が非常に大きくなる。 現在、住民の意見をお聞きして拡声器の向きを検討している。
防災無線について	放送の流し方について	防災無線の放送は、全てのスピーカーから同時ではなく、時間がずれて鳴っているような気がする。緊急事態時にずれたら、まずいのでは。	担当課へお伝えする。

テーマ	質問要旨	内容(会議録から)	会場での回答等
防災無線について	戸別受信機の設置について	アナログからデジタルに変わり、各家庭から受信機がなくなってしまう、外にはあるが場所によっては聞こえない。インターネットを使って、各家庭に防災無線を有線のような感じでつけることを、もう一度考えてほしい。	コミュニティFM放送を活用した行政情報の提供とともに、緊急告知つきのFM防災ラジオを整備してほしいと行政に提案。緊急告知機能つきのFMラジオを何らかの方法で各家庭に配布いただけるように活動している。
防災無線について	あづみ野FMの社屋の災害対策について	今のあづみ野FMの本社の発信の場所が、ハザードマップを見ると水に流されそうな場所である。災害を想定すると懸念があるので、検討課題としてほしい。	ご意見としてお伺いする。
防災無線について	防災無線が聞こえない 屋外スピーカーから聞こえない FM放送が聞こえない地域もある	防災無線の屋外スピーカーについて「非常に聞きづらい」、「音声割れてしまっている」などの話をよく聞く。市行政コミュニティ放送に900万円の新規予算が計上されているが、出力が小さいせいか、相当いいアンテナのラジオしかFM放送は受信できず、いわゆるポータブルラジオではほとんど聞こえない。コミュニティFMが受信できないという問題について議会で質疑等はあったのか。	屋外スピーカーの防災無線が聞きにくい場所があれば、議会から危機管理課へ連絡して調整していきたいが、聞こえないときにはメール配信やテレホンサービスを利用してほしい。またメール配信やテレホンサービスのPRを行政に要請していく。FMの有効性については、地元のFM局と技術的な部分や可能性について打ち合わせをしているが、山に近い地域では聞こえないなどの問題もあり、行政も先進自治体等を視察し勉強する予定である。FM放送が受信できない問題の実態調査は、市へのご要望としてお伝えする。
マイナンバー制度	個人情報の管理について	マイナンバー制度について、取扱い等に不安があり、個人情報漏れるのではないかとセキュリティーに疑問がある。漏れいした場合の責任などについてどのように考えるか。	マイナンバーについては、議員の中でも賛否があった。個人情報の取り扱いについては、先ほど報告があったとおりの様々な関わりがあるので、ご意見としてお伺いする。
公式スポーツ施設	南部総合体育館建設について 建設費用について	公式スポーツ施設の財源になるべき基金が可決されたということだが、大がかりな予算を使っての南部新体育館建設計画についてお聞きしたい。	議会としても南部総合体育館の建設計画について政策討論会議を行い、どのような形で進めていくべきか現在検討中である。
公式スポーツ施設	南部総合体育館建設について	有事の際の財務負担、備蓄金額をどの程度見込んでいるのか。南部総合体育館の建設は本当に必要な施設なら仕方ないが、何十年に一度しか来ない国体級の体育館を建てる必要はない。慎重に審査してほしい。	ご意見としてお伺いし、議会でも対応を検討する。
公式スポーツ施設	南部総合体育館について	南部総合体育館の建設について、国体などは広域で考えなければいけない。安曇野市としては市民のための施設として考えてもらいたい。	南部総合体育館建設の問題について、市民の皆さんがまだよく存じないことが一番の大問題だと議会でも捉えている。議会ですっかりと市民の声を受けとめて、市に働きかけていく段階にあると思っている。

テーマ	質問要旨	内容(会議録から)	会場での回答等
公式スポーツ施設	公式スポーツ整備計画の計画されている施設について 南部総合体育館について	南部の運動公園に38億円かけて国体レベルの体育館を建設することが既に決まっているかのような新聞報道もあるが、その他の5つの公式スポーツは、具体的に決まっているものはあるのか。 身近なところに使い勝手のいい体育施設がほしいという市民の要望が、いつの間にか国体級というような話が出てきて、今の安曇野市の行政の意思の決定の仕方が非常に不透明であると感じる。	平成27年6月に安曇野市の公式スポーツ施設の整備計画ができており、その中に具体的に5つの施設と書かれている。この計画の中で示されているものとしては、野球場、テニスコート、陸上競技の練習機能のある陸上競技施設、サッカー場と明示されている。 議会としても政策討論会議等を実施し、議論しながら道筋をつけていきたい。
除雪の対策	除雪対策について 除雪基準と除雪状況の情報提供	車線数などによって除雪の基準が違うとお聞きしたが、除雪の基準や情報を市民に知らせるように議会からも働きかけをお願いしたい。	担当課にお伝えする。
松枯れ対策	エアウォーターの松枯れ対策について	更新伐事業、空中散布、樹種転換など色々な対策方針があるが、松枯れ対策はこれから全体的、総合的にどのように進んでいくのか。 民間企業である(株)エア・ウォーターがこの松枯れ対策にもご尽力いただけると聞いているがどうか。	地域性や地域の状況などを考慮しながら、地域の皆さんのご意向を尊重し、酌み上げて市が的確に対応していく。議会としても、限りがある予算の中で適切な、的確な対応をしていくよう市にお願いしていく。 エア・ウォーターのトマト栽培施設では、松枯れの松や間伐材を利用したバイオマスプラントを利用している。このような働きを市でも応援している。
松枯れ対策	松枯れ対策 新しい樹木の植樹	松くい虫にやられて松が枯れることも流れの一つと解釈して、かかった松は早く処理をして、被害を増やさぬようにすることがまず第一ではないか。 樹種転換として桜やハナモモなどを植えて、隣の池田町の桜仙峡などと合わせて、安曇野に桜の山を促成していくのはどうか。桜の木オーナー制度のように寄附を募るなどして、100年後の安曇野を美しくするために努力してほしい。	桜の植樹では「光城山1000人SAKURAプロジェクト」を設立して、行政としても対応している。 議会としてもまた取り上げたい。
松枯れ対策	松枯れ対策のについて 議会から執行部への要望について	松枯れ対策について、議会として行政に対してどのような要望、対策をしたか。	松くい虫の被害対策は、今後委員会でも検討課題として継続していきたい。
松枯れ対策	松枯れ対策 神社の松の処理について	地域のお宮の松が枯れてしまい、多大な費用がかかる。お宮の松は公共物ではないが、個人のものでもなく、対策も、費用も全然補助してもらえない。もとに戻すためにも、何とかしてもらえないか。	松くい虫については対策に苦慮しており、真剣に議会としても取り組んでいきたい。 公共的な施設の松についてのご要望は、議会として市に要望をしていきたい。
予算・基金	ふるさと寄附の使用目的について	ふるさと寄附は熊本地震のような災害時、緊急時に充てる費用として、食料や水を確保するために基金としているのか。	ふるさと寄附は、就学支援等に利用する為の教育についての基金として積み立てた。